

北海道阿寒郡鶴居村 農事組合法人 清和農場

皆さん、こんにちは！

あらためまして北海道担当の植田秋良（あきら）と申します。

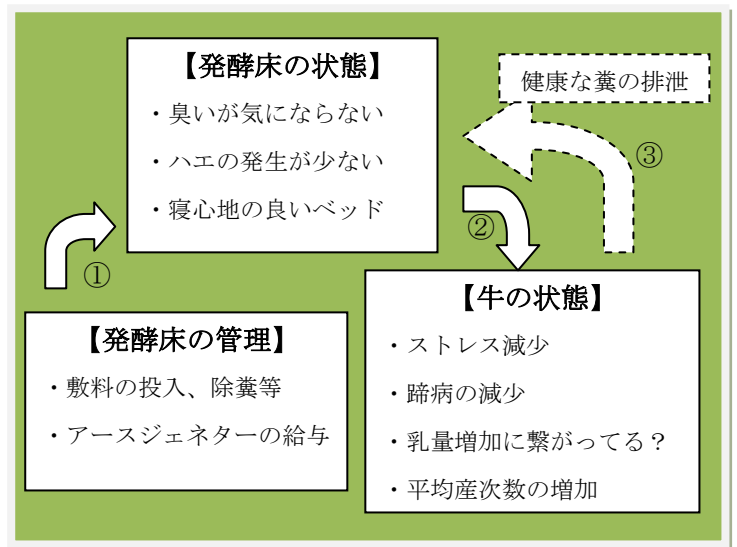
さて、早速ですが今回はユーザー紹介ということで酪農業を営んでおられる清和農場様をご紹介したいと思います。

牧場の概要は、

経産牛 400（常時、搾乳牛 320 頭）、育成牛 240 頭

構成員 9 名、雇用 6 名の共同経営です。

そして、最大の特徴はな、な、なんと哺育舎、育成舎、搾乳牛舎など全ての牛舎が発酵床方式なのです！



発酵床は牛舎が完成する数ヶ月前から準備を進め、アースジェネターを給与した牛の糞尿で種堆肥を作り、発酵床のベースとしました。（当時、前任者の西村が対応）

現在、給与を開始して 10 年ほどになりますが、明確な手応えとして

1. 糞や発酵床の臭いが気にならない
2. ハエの発生が少ない

といったことが挙げられます。1.2 はいずれも発酵床の状態が良い事を表しております。発酵床を良好に維持する為にはアースジェネターの給与はもちろんですが、敷料投入による水分調整や除糞、牛床攪拌などのベッドメイキング（牛床管理）が大事な要因になってきます。特にこの方式は一步間違えると“腐敗床”になりかねませんので日々の牛床管理に注意が必要です！ 参考までに清和農場さんの好循環の例を図で表示させていただきます！

農場の方々は『発酵』や『微生物』という事に対して熟知しておられます。四季折々、どんな天候でも安定した発酵を維持する為の手間と神経の使い方は半端じゃありません！

『この方式で牛を飼う上では発酵床の状態の良し悪しと牛の健康状態はリンクする』

農場の皆さんははっきりそうおっしゃいます。素晴らしいです！

以上とりとめなく書きましたが清和農場さんの取り組み等がお分かり頂けたでしょうか？

清和農場さん、今後ともご活躍を期待しております！！

どうもありがとうございました！